

令和元年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会議事録

日 時：令和元年10月3日（木）13時～15時

会 場：瑞浪市化石博物館レクチャールーム

出席者 <協議会委員> 大路 樹生（学識経験を有するもの）
松岡 敬二（学識経験を有するもの）
中山 京三（社会教育関係者）
西尾 京子（家庭教育の向上に資する有するもの）
間宮 弘一（学校教育関係者）
<事務局> 和田 光浩（館長）、安藤佑介（事務局員）

1. あいさつ

事務局より挨拶を行った（内容は省略）。

2. 報告事項

令和元年度事業中間報告について

企画展、講座等令和元年度9月までに実施した各種事業の結果（参加者等）を報告した。

・講座の参加費について

委 員：講座の運営（講師料等）は講座の参加費でまかなえるように参加費を設定しているか。

事務局：昨年度、参加費の見直しを行い、運営費の8割ほどを参加費でまかなえるようにした。10月以降、増税の影響がでてくるが、今後も定期的に参加費の見直しを行いたい。

・研究報告の出版について

委 員：電子版のISSN（国際標準逐次刊行物番号）を取得されたとのことであるが、DOI（デジタルオブジェクト識別子）は取得しないのか。

事務局：DOIを取得するためにはジャパンリンクセンターの正会員か準会員にならないといけない。正会員になるには年会費2万円が必要であり、準会員も入会条件が厳しい。今後の検討課題としたい。

委 員：予算的な問題もあると思うが、前向きに検討してほしい。

3. 協議事項

令和2年度事業計画について

・講座等の開催について

委 員：展示解説のボランティアを募集してはどうか。日曜日や学校団体利用時にボランティアが解説するようにすればより博物館が充実する。

事務局：検討してみる。現在みずなみかたりべの会という団体が瑞浪市の文化財

全般のボランティア活動をしており、化石に興味のある会員もいるため、この方々が協力してくださる可能性がある。

委員：過去にボランティアの募集を市の広報でしていたと記憶している。データベース更新作業にはボランティアの協力を受けているため、展示解説ボランティアを募集してみてもどうか。

事務局：検討し、必要があれば募集方法も考えたい。

委員：あまり高いレベルを求めるのではなく、簡単な解説でいいので週末にボランティアがいる館内を目指してほしい。ただし、研修は学芸員と課長でしっかり行うことが望ましい。

・研究報告のオンライン公開について

委員：オンライン公開のみの場合、新属や新種は国際動物命名規約に沿った公表にできるのか。

事務局：出版の公表の条件に公表の日付の記載と Zoobank に登録が行われた証拠を含んでいなければならない、新属新種の記載が行われる論文については注意して公表を行うが、登録手続きに要する時間はさほど問題にならない。

委員：研究報告の出版数が減っているが予算が削減される見込みなのか。

事務局：予算は削減されていないが、昨年度各博物館や研究施設に冊子媒体が必要かどうかアンケートを実施した結果、不要と回答した機関が十数か所あり、出版数を減らすこととした。

・ふるさと納税返礼品に対する化石博物館サービスの登録について

委員：あくまでも登録をしてほしいのは、化石が瑞浪市の目玉であるということとふるさと納税のページでも PR すること、また博物館が市の事業に積極的に参加していることを示す目的もあわせもつ。収益の有無、効果の有無ではなく、ホームページに化石の項目があったほうが化石のまちらしいと思う。

事務局：案で提案したような化石採集プライベートツアーを企画し、市民協働課と協議したい。

委員：より簡単な返礼品があってもよいと思う。解説書付の瑞浪産化石はどうか。

事務局：まずは、ツアーを企画し、好評であれば第二弾を考えたい。

4. その他

- ・今年度末で委員の任期が満了するが、来年度以降も留任していただけるようお願いし、承諾を得た。